

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

アスター

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
苗立枯病 (リゾクトニア菌)	生育期	・次の薬剤を土壌灌注する。 リゾレックス水和剤 500～1000倍 3L/㎡	
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●＊ 1000倍 フルピカフロアブル＊ 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤーフロアブル＊ 2000倍 オルトラン水和剤＊ 1000～1500倍 ロディー乳剤＊ 1000倍	
ウリハムシ		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 スミチオン乳剤 1000倍	
その他の病害虫		うどんこ病、斑点病、菌核病、半身萎凋病	

アスパラガス(観賞用)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
茎枯病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 トップジンM水和剤㊟ 500～1000倍	
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●＊ 1000倍 フルピカフロアブル＊ 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
アザミウマ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 オルトラン水和剤＊ 1000～1500倍	

アンズリウム

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
根腐病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 600倍	
アザミウマ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 オルトラン水和剤＊ 1000～1500倍	
その他の病害虫		炭疽病、コガネムシ類	

＊:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物（花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる）

インパチエンス

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
リゾクトニアによる立枯性病害		・ 次の薬剤を土壌灌注する。 リゾレックス水和剤＊ 500～1000倍 3L/㎡	
灰色かび病		・ 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●＊ 1000倍 フルピカフロアブル＊ 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
べと病		・ 発生を見たら次の薬剤を散布する。 オロンディスウルトラSC 2000～3000倍	
アザミウマ類		・ 発生を見たら次の薬剤を散布する。 オルトラン水和剤＊ 1000～1500倍	
その他の病害虫		斑点病	

キンギョソウ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
菌核病		・ 次の剤を散布する。 トップジンM水和剤㊟△＊1500倍	△無機銅との混用はさける。
灰色かび病		・ 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●＊ 1000倍 フルピカフロアブル20＊ 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
その他の病害虫		疫病、葉枯病、炭疽病	

キンセンカ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病		・ 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 バンチョTF顆粒水和剤●＊ 2000倍 ポリオキシシンAL水溶剤＊ 2500倍 モレスタン水和剤△＊ 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは害薬を生じるおそれがあるので注意する。
菌核病		・ 次の剤を散布する。 トップジンM水和剤㊟△＊1500倍	△無機銅との混用はさける。耐性菌を生じやすいので連用しない。

＊：花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物 (花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)
(キンセンカ)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 - ゲッター水和剤㊟●＊ 1000倍 - セイビアーフロアブル 1000倍 - フルピカフロアブル＊ 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
半身萎凋病		1. 土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。 2. 次の薬剤を予防的に散布する。 トップジンM水和剤㊟ 1500～2000倍	
その他の病害虫		疫病	

ケイトウ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
苗立枯病		・次の薬剤で種子消毒する。 - ホームマイ水和剤㊟ 200倍液 30分浸漬 - 種子重量の1%粉衣	
輪紋病・茎腐病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 - トップジンM水和剤㊟ 1500～2000倍	
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 - アドマイヤーフロアブル＊ 2000倍 - オルトラン水和剤＊ 1000～1500倍 - ロディー乳剤＊ 1000倍	
シロオビノメイガ	生育期	・次の薬剤を散布する。 - カスケード乳剤 2000倍 - ノーモルト乳剤 2000倍	
その他の病害虫		モザイク病(CMV)、茎枯病、黒斑病、根腐病	

＊:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

コスモス

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
そうか病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 600倍	
白斑病		・発病初期に次の薬剤を散布する。 マネージ乳剤 1000倍	梅雨明け後～夏季にかけて発生しやすい。
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 パンチョTF顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシンAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは葉害を生じるおそれがあるので注意する。
その他の病害虫		半身萎凋病、白絹病、軟腐病、モザイク病	

サンダーソニア

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
白絹病		・発生を見たら次の薬剤を株元に散布する。 モンカットフロアブル40* 1000～2000倍	
その他の病害虫		疫病、ロビンネダニ	

シネラリア(サイネリア)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 パンチョTF顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシンAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは葉害を生じるおそれがあるので注意する。
褐斑病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 600倍	
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
シンクイムシ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 スミチオン乳剤 1000倍	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物（花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる）

シャクヤク

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病	生育期 (萌芽期)	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●＊ 1000倍 フルピカフロアブル＊ 2000～3000倍 ポリオキシシンAL水溶剤＊ 2500倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 パンチョTF顆粒水和剤●＊ 2000倍 ポリオキシシンAL水溶剤＊ 2500倍 モレスタン水和剤△＊ 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは葉害を生じるおそれがあるので注意する。
根黒斑病	植付前	1. 土壌消毒を行う（土壌消毒の項参照）。 2. 次の薬剤に苗基部を浸漬処理する。 ベンレート水和剤㊟ 20倍10分間 500倍16時間	
ネコブセンチュウ		・土壌消毒をする（土壌消毒の項参照）。	
その他の病害虫		褐斑病、菌核病、白紋羽病、灰色かび病、斑葉病、コウモリガ、ハガレセンチュウ	

宿根アスター

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
斑点病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 ダコニール1000＊ 1000倍	
シロイチモジヨトウ		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 カスケード乳剤 2000倍	
ハモグリバエ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アクトラ顆粒水溶剤 2000倍 アフアーム乳剤＊ 1000倍	
その他の病害虫		白絹病、菌核病	

スイセン

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
球根腐敗病	植付前	1. 土壌消毒する（土壌消毒の項参照）。	

＊：花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)
(スイセン)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
球根腐敗病	植付前	2. 次の薬剤のいずれかを球根処理する。 ホームイ水和剤㊟ 粉衣: 球根重量の1.0% 浸漬: 200倍液に30分間 ホームイコート(水) ㊟ 粉衣: 球根重量の1%	
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤーフロアブル* 2000倍 オルトラン水和剤* 1000～1500倍 ロディー乳剤* 1000倍	
クキセンチュウ	植付前	1. 連作をさける。 2. 球根を50℃の温湯に20～30分間浸漬する。	チューリップ、ヒヤシンスなどにも発生する。
その他の病害虫		白絹病、灰色かび病、斑点病、ネダニ類	

スイートピー

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
腰折病	定植前	・次の薬剤を土壌混和する。 リゾレックス粉剤 50kg/10 a	
	生育期	・発生を見たら初期に次の薬剤のいずれかを施用する。 リゾレックス水和剤 500～1000倍 3L/m ² 土壌灌注 オーソサイド水和剤80 600倍	
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 トリフミン水和剤●* 3000倍 ポリオキシシAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは薬害を生じるおそれがあるので注意する。

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

(スイートピー)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤーフロアブル* 2000倍 オルトラン水和剤* 1000～1500倍 ロディー乳剤* 1000倍	
ハモグリバエ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アクトラ顆粒水溶剤* 2000倍 アフーム乳剤* 1000倍	

スターチス

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 サンヨール# 500倍 フルピカフロアブル 2000～3000倍 ロブラール水和剤● 1000～1500倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 #使用時期は開花前まで。また高温時の使用は葉害が生じるおそれあり。
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 サンヨール# 500倍 パンチョT F 顆粒水和剤●* 2000倍 フルピカフロアブル 2000倍	#使用時期は開花前まで。また高温時の使用は葉害が生じるおそれあり。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンヨール# 500倍	#使用時期は開花前まで。高温時の使用は葉害生じるおそれあり。
ハスモンヨトウ	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 カスケード乳剤 2000倍	
コガネムシ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 スミチオン乳剤 1000倍	
	幼虫発生初期	・次の薬剤を株元に散布する。 オルトラン粒剤☆ 6kg/10a	☆宿根スターチスのみ
ハダニ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンヨール# 500倍	#使用時期は開花前まで。高温時の使用は葉害生じるおそれあり。
その他の病害虫		炭疽病、褐斑病、褐紋病、株腐病、白絹病	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

ゼラニウム

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟● 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
斑点病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 ゲッター水和剤㊟ 1000倍	
黒根病	育苗期	・発生を見たら次の薬剤を、セルトレイ(60×30cm)1冊あたり500ml灌注する。 ベンレート水和剤 2000倍	
コナジラミ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 ディアナSC * 2500倍	
その他の病害虫		褐斑病、茎腐病、立枯病、アブラムシ類、アザミウマ類	

センニチコウ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
斑葉病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 600倍	

デルフィニウム

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病		・次の薬剤のいずれかを散布する。 バンチョTF顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシンAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは薬害を生じるおそれがあるので注意する。
シクラメンホコリダニ		・次の薬剤を散布する。 カネマイトフロアブル 1000～1500倍	

ニチニチソウ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
その他の病害虫		モザイク病(CMV)、疫病、くもの巣かび病	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

バーベナ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 - パンチョTF顆粒水和剤●＊ 2000倍 - ポリオキシシンAL水溶剤＊ 2500倍 - モレスタン水和剤△＊ 2000～3000倍 - ダコニールアルファ 2000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは葉害を生じるおそれがあるので注意する。
ハダニ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 - ロディー乳剤＊ 1000倍	
その他の病害虫		菌核病	

ハボタン

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 - オロンディスウルトラSC 2000～3000倍	
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 - ベニカS乳剤 200～400倍	
カメムシ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 - ベニカS乳剤 200倍	
コナガ		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 - カスケード乳剤 2000倍	
ヨトウムシ類		・次の薬剤のいずれかを散布する。 - アフアーム乳剤＊ 1000倍 - ノーモルト乳剤＊ 2000倍	
その他の病害虫		萎黄病	

＊：花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

パンジー (ビオラ)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
疫病	鉢上げ時	・ 次の薬剤を土壌混和する。 ユニフォーム粒剤* 0.25～0.5 g g/土1L ・ 発生を見たら次の薬剤を散布する。 オロンディスウルトラSC* 2000～3000倍	ポット・プランター等の容器栽培に適用
うどんこ病		・ 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 サンヨール# 500倍 パンチョTF顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシンAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000～3000倍	#使用時期は開花前まで。また高温時の使用は薬害が生じるおそれあり。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは薬害を生じるおそれがあるので注意する。
灰色かび病		・ 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフエットフロアブル* 2000倍 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 サンヨール# 500倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 #使用時期は開花前まで。また高温時の使用は薬害が生じるおそれあり。
根腐病	育苗期	・ 発生を見たら次の薬剤を、セルトレイ (60 × 30cm) 1 冊あたり 500ml 灌注する。 ベンレート水和剤㊟ 2000倍	
アブラムシ類		・ 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤーフロアブル* 2000倍 オルトラン水和剤* 1000～1500倍 サンヨール# 500倍 ロディー乳剤* 1000倍	#使用時期は開花前まで。また高温時の使用は薬害が生じるおそれあり。
ハダニ類		・ 発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンヨール# 500倍	#使用時期は開花前まで。また高温時の使用は薬害が生じるおそれあり。
その他の病害虫		黒かび病、黒斑病、立枯病、斑点病、モザイク病	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

ヒマワリ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 バンチョT F 顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシ AL 水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは害薬を生じるおそれがあるので注意する。
斑点病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 ゲッター水和剤㊟ 1000倍	
べと病・黒斑病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 600倍	
空洞病		・次の薬剤を予防的に散布する。 ドイツボルドー A500倍	
タバコガ		・次の薬剤を散布する。 オルトラン水和剤 1000倍	
その他の病害虫		ブタクサハムシ、アワダチソウグンバイ	

ヒヤクニチソウ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 バンチョT F 顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシ AL 水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは害薬を生じるおそれがあるので注意する。
苗立枯病		・発生の初期に次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80* 600倍	
ハダニ類	発生初期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ニッソラン水和剤* 2000～3000倍 ロディー乳剤* 1000倍	
その他の病害虫		モザイク病	

斑入りアマドコロ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
褐色斑点病・斑点病		・発病を見たら次の薬剤を散布する。 ジマンダイセン水和剤 400倍	
斑点病		・発病を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 600倍	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物 (花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)
フリージア

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
菌核病	植付前	1. 客土畑では客土の厚さ20cm以上とする。 2. 連作をさけ、輪作畑では次の薬剤で土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。 NCS 5mL/1穴	病原菌の菌核は豪雨などにより下流の畑に広がる。 多発畑では掘り残しの木子などによって2年間以上生存する。 水田地帯ではNCSの代かき処理も有効である。
	生育期	1. 発病株は早めに処分する。 2. 次の薬剤を散布する。 トップジンM水和剤⑩* 1500倍	
白絹病	植付前	・土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。	
	生育期	1. 発病株は早めに処分する。 2. 発生を見たら次の薬剤を株元に散布する。 モンカットフロアブル40* 1000～2000倍	
首腐病	植付前	1. 土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。 2. 無病の球根を導入する。	10月下旬～1月上旬に発生する。 連続降雨や早植え・多植栽培が発生を助長する。
	生育期	・発病株は抜き取り処分する。	
球根腐敗病	植付前	1. 白絹病の項に準じて土壌消毒する。 2. 植付用木子は次のいずれかの方法で消毒する。 ホームイ水和剤⑨ 200倍30分浸漬 球根重の1%粉衣	
モザイク病	生育期	1. 発病株は抜き取って処分し、発病の疑いのある株から木子をとらない。 2. アブラムシ類を防除する。	病原ウイルスはインゲンマメ黄斑モザイクウイルス(BYMV)が多い。
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤーフロアブル* 2000倍 オルトラン水和剤* 1000～1500倍 ロディー乳剤* 1000倍	
その他の病害虫		ネダニ類	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

ペゴニア

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
キンケクチブトゾウムシ幼虫	生育期	1. 次の薬剤を株元に散布する。 ガゼット粒剤 1～2g/株	
その他の病害虫		うどんこ病、斑点細菌病	

ペチュニア

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロケア水* 1000倍 サンヨール(乳) # 500倍 パンチョTF顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシンAL水溶剤* 2500倍	#使用時期は開花前まで。また高温時の使用は葉害が生じるおそれあり。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 サンヨール# 500倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 #使用時期は開花前まで。また高温時の使用は葉害が生じるおそれあり。
アブラムシ類	定植前	・次の薬剤を培土混和する。 ベストガード粒剤* 3～5g/培土1L	#使用時期は開花前まで。高温時使用は葉害が生じるおそれあり。
	定植時	・次の薬剤を植穴土壌混和する。 アドマイヤー1粒剤 1g/株(但し、3kg/10aまで)	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンヨール# 500倍	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物 (花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)
(ペチュニア)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ナメクジ類	開花前まで	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンヨール# 250～500倍 サンヨール液剤AL 原液	#使用時期は開花前まで。高温時使用は葉害が生じるおそれあり。
ハダニ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンヨール# 500倍	#使用時期は開花前まで。高温時使用は葉害が生じるおそれあり。
その他の病害虫		こうがいかび病	

ホオズキ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
斑点細菌病	発病初期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アグリマイシン-100 1000倍 カスミンボルドー 1000倍 銅ペーパーシン水和剤 1000倍 マテリーナ水和剤 1000倍	
軟腐病	発病初期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 カスミンボルドー 1000倍 銅ペーパーシン水和剤 1000倍	
半身萎凋病	植付前	・土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。	
	生育期	・次の薬剤を予防的に散布する。 トップジンM水和剤 1500～2000倍	
アザミウマ類		・次の薬剤を散布する。 アベンジャーフロアブル 2000倍	
カメムシ類		・次の薬剤を散布する。 アディオン乳剤* 2000倍	
タバコガ		・次の薬剤を散布する。 カスケード乳剤 2000倍	
チャノホコリダニ		・次の薬剤を散布する。 ピラニカEW 2000倍	

ボタン

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
根黒斑病	植付前	1. 土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。 2. 次の薬剤を苗基部浸漬処理する。 ベンレート水和剤 20倍液に10分間 500倍液に16時間	

*: 花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

マリーゴールド

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
ハモグリバエ類	発生初期	・次の薬剤を散布する。 アフーム乳剤* 1000倍	
ネキリムシ類	生育初期	・次の薬剤を株元に散布する。 ガードベイトA(粒)* 3kg/10a	

ミヤコフスレ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
根腐病		・発病を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 600倍	

ルスカス

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病		1. 施設内の過湿に留意し、発病枝はただちに除去する。 2. 発生を見たら初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤーフロアブル*2000倍 オルトラン水和剤* 1000～1500倍 ロディー乳剤* 1000倍	
その他の病害虫		こうじかび病、カイガラムシ類	

レザーファン

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アザミウマ類	生育期	・次の薬剤を株元土壌混和する。 アドマイヤー1粒剤 1g/株(但し、3kg/10aまで)	
アブラムシ類	生育期	・次の薬剤を株元散布する。 アドマイヤー1粒剤 2g/株(但し、6kg/10aまで)	
その他の病害虫		さび病、コガネムシ類、ホコリダニ類	

*:花き類・観葉植物での登録